

## 議長の一言



佐藤 峯夫

十二月定例会は決算議会といわれ、執行済みのものとして軽んじられる傾向にあった。  
しかし、決算の持つ大きな意義は、一、翌年度予算編成の反省事項、一、行政執行の方法、手段や効果の評価  
以上の点であることを忘れてはなるまい。  
それだけに、決算を重視することこそ、住民が変わって行政責任を問う議会のあるべき姿ではないだろうか。

## 請願・陳情・意見書

### 採択されたもの

- ・消費税の引き上げに反対する意見書採択を求める陳情
- ・法務局の増員に関する陳情
- ・クリオンプールの早期着工に関する陳情書
- ・陳情書 緊急避難経路施工について  
(継続審査となっていたが、狭隘かつ急勾配な場所であり、現地調査後、認められた)
- ・市道神代保育所線の道路側溝布設延長について

### 不採択となったもの

- ・後期高齢者医療制度に対する政府・厚生労働省への意見書の提出を要請する陳情書
- ・後期高齢者医療制度に対する広域連合への意見書の提出を要請する陳情書
- (委員会では、採択されたが、本会議で不採択となった。)

### 継続審査となったもの

- ・地籍調査錯誤の修正方について  
(更に調査が必要なし)
- ・秋田内陸縦貫鉄道存続に関する陳情書

### 意見書

- ・消費税の引き上げに反対する意見書
- ・法務局の増員に関する意見書
- ・道路特定財源の確保等に関する意見書

## 仙北市議会・会派設立

市議会では十二月定例会前に、五会派の設立届けが議長に提出された。  
これに伴い議会は会派制を取り入れ、会派の人数により議会運営委員の一部改正と一般質問者の人数を決めた。  
会派の構成は次の通り。  
(届出順)

- 創成会  
代表 田口勝次、青柳宗五郎、八柳良太郎、佐々木章
- 政見会  
代表 浦山敏雄、門脇健郎、戸澤清、小田嶋忠
- 仁政クラブ  
代表 安藤武、佐藤直樹、黒沢龍己、田口寿宜、澤田信男、佐藤宗善
- 翠巒会  
代表 小林幸悦、真崎寿浩、田口喜義、藤原助一、大石温基
- 日本共産党仙北市議会議員団  
代表 浅利則夫、平岡均、高久昭二
- 議会運営委員は次の通り。  
委員長 田口勝次、副委員長 田口喜義、浦山敏雄、安藤武、澤田信男、小林幸悦、高久昭二、委員外委員 佐々木章(副議長)

## 編集後記

後期高齢者医療制度のことが十二月の議会で大きな、話題になりました。

この制度は国の制度で、担当は、今、評判の厚生労働省で、仙北市役所では、市民福祉部になると思います。

役所の係が悩んでいます。国が選挙がらみで、どうなるかわからないのです。

(この広報が届く時はどうなっているかもわからない)

しかし、はっきりしているのは七十五歳以上の方は、この、医療制度には強制的に加入させられまじ、掛け金は年金から天引き(社会保険庁から)されます。もう、決まりました。

後のことはこれからです。今年は、色んな問題があります。

知恵を出し合って頑張っていきたいと思えます。

ご愛読の程、よろしくお願い申し上げます。

### 訂正とお詫び

前回No.8市議会だよりの田口喜義議員一般質問タイトルで交流人口十四万人は一千万人の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。